

BEFORE

地震発生時は様々な危険があります

割れたガラスで
ケガ

断水発生

家具の下敷き

火災発生

倒れた家具で
ドアが開かない

家の中の安全対策
をしましょう

めくって確認！

地震のリスク

- 家具転倒
- 火災発生
- トイレが使えない など

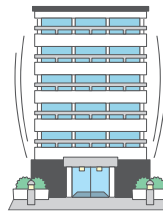
マンションの防災対策

マンション等の耐震性の高い建物にお住まいの場合には在宅避難を推奨しています。
マンション特有の災害リスクを知り、必要な準備をしましょう。

マンションの強み

耐震性の高い構造

耐震基準を満たしたマンションは建物に亀裂や破損が生じることはあっても、倒壊することはめったにありません。



マンション特有の災害リスク

エレベーターが使えなくなる

停電などでエレベーターが止まってしまうと、閉じ込めにつながる場合があります。防災キャビネットを設置し、飲料水・食料品・携帯トイレなどを備蓄しましょう。



防災キャビネット

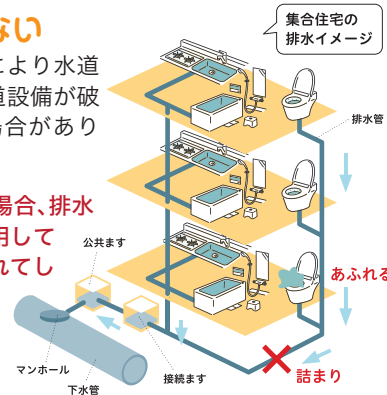
CHECK!

建物の被害想定(文京区)
エレベーター停止台数:534台
都心南部直下地震、最大震度6強を想定

トイレはすぐに使わない

災害時には、水道設備の破損により水道が使用できない場合や、下水道設備が破損して汚水が流せなくなる場合があります。

マンションなどの集合住宅の場合、排水管が破損したままトイレを使用してしまつと下の階に汚水があふれてしまうおそれがあります！



CHECK!

水道の復旧日数

上水道復旧日数:約17日後 下水道復旧日数:約3週間後

首都直下地震、
最大震度6強を想定

携帯トイレなどの準備

排水管の安全が確認できるまでトイレは使用できません。日頃から簡易トイレ・携帯トイレを備えておきましょう。



自宅が安全なら 在宅避難



避難所は、自宅が倒壊するなど被害を受けた方が避難する場所です。
自宅での生活が継続できれば、
在宅避難をしましょう。

VR(Virtual Reality)
で地震を体験しよう



災害情報を確認できる
文京区防災アプリ



マンション防災について
(管理会社・管理組合向け)



印刷物番号 B0525029

在宅避難のメリット

- 住み慣れた自宅でストレス軽減
- 感染症のリスクが少ない
- ペットと一緒に生活できる など

自宅の耐震チェック

建物の倒壊による被害を防ぎ、在宅避難をするための対策のひとつとして、建物の耐震診断をお受けください。耐震性能が低い場合は、耐震改修工事等の対策が必要となります。区では、昭和56年5月31日以前（木造の場合は平成12年5月31日以前）に建築された建物に耐震診断費用の一部を助成しています。その他、耐震化アドバイザー派遣などを行っています。

耐震診断
費用助成



耐震化
アドバイザー
派遣



備蓄品の準備 (最低3日・できれば7日分)

災害時の備蓄は、夏は熱中症対策（冷却シート・うちわ・扇子等）を、冬は防寒対策（カイロ・アルミブランケット・厚手衣類等）をそれぞれ加えるなどし、定期的に内容を見直すことが大切です。

- 食料品（米・乾麺・レトルト食品・缶詰など）
- 飲料水（1日1人3リットル）
- 簡易・携帯トイレ（1日1人5回分）
- 熱源・燃料（カセットコンロ等）
- 電源（充電機・発電機等）
- 自分や家族にとって必要なもの

自分の家族構成に合った備蓄品を確認しよう (東京備蓄ナビ)

一般的な備蓄品のほかに、女性や赤ちゃんのために必要な備蓄もあります。



AFTER

ガラスに飛散防止フィルム

家具の転倒防止対策

家具の設置場所の工夫

ベッドやドアの近くに大きな家具を置かない

断水時のトイレの備え

感震ブレーカーの設置

※揺れを感知して自動で電気を止める装置

消火器具の準備

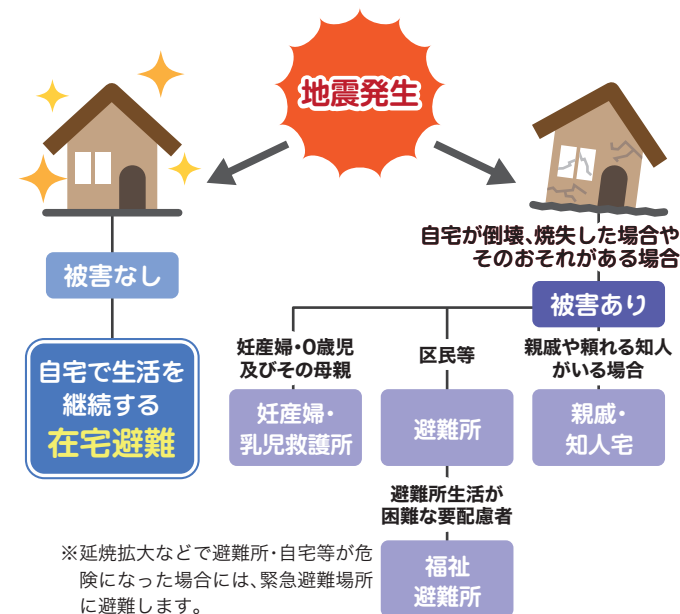
文京区家具転倒防止器具設置助成事業



家族で災害時の連絡手段についても確認しておきましょう

◆災害用伝言ダイヤル(171) ◆災害用伝言板

在宅避難する？避難所へ行く？

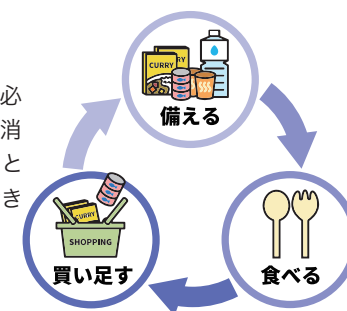


避難場所や防災施設を確認しよう
(文京区防災地図)



ローリングストック法の活用

普段使用している食料や生活必需品などを多めに買って置き、消費したらその分を補充することで、常に一定量の備蓄をしておきましょう。



必要な防災用品の購入
(文京区防災用品あっせん事業)



文京区の防災関係助成制度